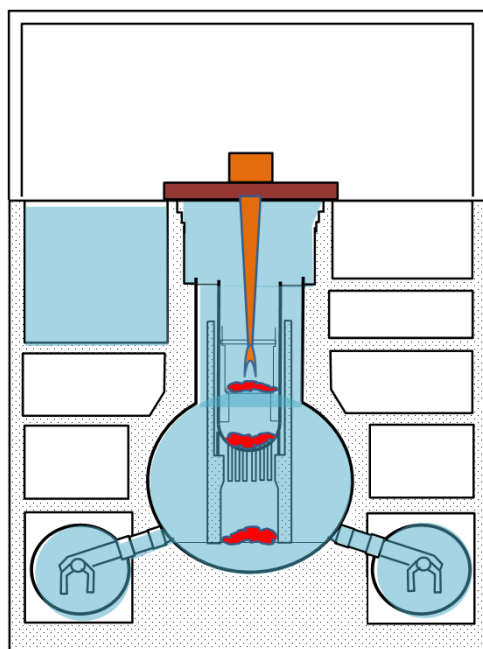
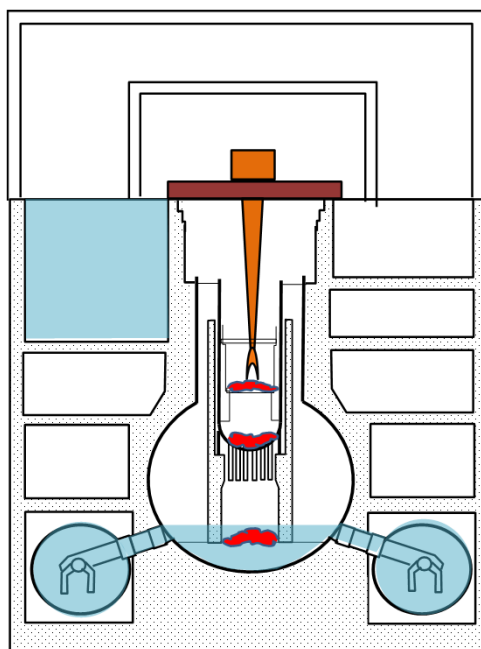


- 福島第一原発の廃止措置を終えるには、原子炉建屋内に残っている燃料や溶融（燃料デブリ）の取り出しが必須。
- このうち、燃料デブリの取り出しは過去に例のない困難な取組となるため、複数の工法について実現性を検証することとしている。
- そのための取組の一つとして、国内外の叡智を集めるため、燃料デブリ取り出し関連の技術情報（公募期間：平成25年12月～翌年1月。提供情報数：194件（うち約4割は海外から））や、燃料デブリ取り出しの工法や関連技術の国際公募（公募期間：平成26年6月～8月。採択事業数：11件（うち3件は海外事業者））が実施されている。

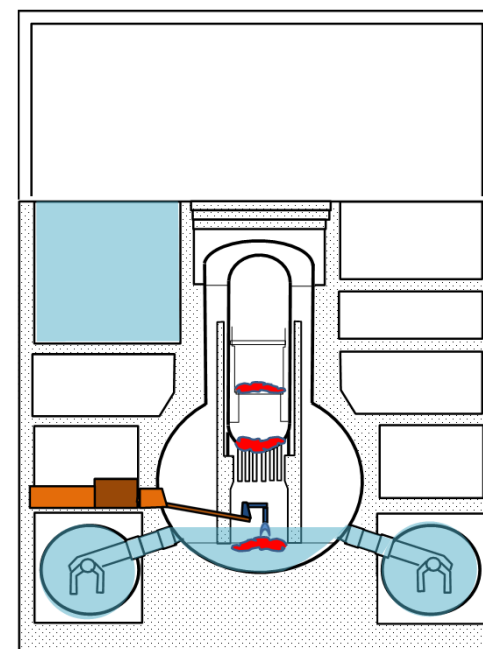
燃料取り出し工法のイメージ事例



冠水一上アクセス工法



気中一上アクセス工法



気中一横アクセス工法

● : 燃料デブリ